

はにわ通信

No.244 平成 27 (2015) 年 7 月号

【埴輪の魅力、伝えます。】

埴輪は、3 世紀後半から 6 世紀後半の約 300 年間にかけて、古墳の周りや造り出しと呼ばれる儀式用の舞台などに並べられた素焼きの焼き物です。私たちの祖先はこの埴輪を用いて亡くなった首長の魂をあの世へ送る儀式を行っていたのです。

松阪市では宝塚 1 号墳から出土した船形埴輪が有名ですが、実は、他にもすばらしい埴輪がたくさんあります。例えば、三重県指定文化財となっている常光坊谷 4 号墳の巫女の形をした人物埴輪や松阪市指定文化財となっている高田 2 号墳の初期円筒埴輪など高い評価を受けているものも多数あります。

しかし、埴輪の魅力はそれだけではありません。埴輪は地域や各時期によって作られ方が変化していくことから、埴輪を調べることで、その古墳が造られた時代や埋葬された首長の性格を知ることができます。まさに、埴輪を知ることはその地域の歴史を知ることにつながっていくのです。

松阪市内の埴輪を集めたはにわ館夏季企画展「続 まつさかの埴輪」が 7 月 18 日（土）よりはにわ館第 2 展示室にて始まります。普段目にすることの少ない貴重な埴輪も展示します。本物を見に是非一度はにわ館へ足をお運び下さい。（担当）

下の写真の埴輪は私のモデルになった埴輪なんですよ。



常光坊谷 4 号墳から出土した巫女形の埴輪

【大昔、埴輪を作った人の思いは…】

5 月、宝塚古墳の船形埴輪のレプリカが壊された。悲しい話である。

宝塚古墳からたくさんの埴輪が出土している。話題になったのは、船形埴輪であるが、それ以外はほとんどが円筒埴輪で、1 号墳では 2,000 個以上のものが置かれていたという。その数の多さに驚く。いくつかの復元された円筒埴輪を見れば、同じよう

に見えても、すこしずつ違っている。均整がとれスマートなものや大らかに作り上げたものなど…。円筒埴輪を実際に実物大で作ってみるとその大きさを実感する。そして、当時の工人たちの息遣いに触れたような気になる。表面をはけめのような模様で整えたり、突帯の部分を親指、人差し指、中指で挟むように形づくった跡からは、工夫を重ねて作っただろう様子が見えてくる。

宝塚古墳が築造されたころはヤマト王権の影響下にあったと考えられるので、埴輪の工人はヤマトから招いた技量の高い者か、それとも里人たちが彼らに教えてもらいながら工人として埴輪づくりに加わったのだろうか。ふとそんなことを想像してみた。



7 月のはにわ館は常設展とともに企画展「続 まつさかの埴輪」を開催します。さまざまな松阪の埴輪を見に来てください。また、市民ギャラリーにおいても企画展示として、「歴史ジオラマ展」、「まつさかのちっちゃなアーティストたち」展を開催します。ジオラマはすべてが当センターのスタッフが制作したもので、高い評価を得たものです。「ちっちゃなアーティストたち」展は松阪市内の保育園児による造形作品展です。かわいい作品が並びます。そのほかに小津安二郎の源流展、市民による写真展などが開催されます。ぜひ文化財センターへお出かけ下さい。（所長）

文化財センター はにわ館 & ギャラリー 7 月の催し物予定

7 月の休館日は 6 日（月）、13 日（月）、21 日（火）、27 日（月）です。
開館時間は 9：00～17：00 です。

【はにわ館】 入館料 100 円（18 歳以下無料） * 入館は 16:30 まで

第 1 展示室	■常設展「宝塚古墳の謎」
第 2 展示室	■夏季企画展「続 まつさかの埴輪」 7/18（土）～ 8/30（日）
第 2 展示室	■展示説明会「続 まつさかの埴輪」 7/18（土） * 13:30～14:30

【夏休み特別企画】 予告

第 1 展示室	■中学生ボランティアガイド	* 実施時間帯は入館無料
8/1（土）～ 8/9（日） * 10：00～12:00（土日のみ）/13:00～15:00		

【ギャラリー】 入場無料

第 2 G	■歴史ジオラマ展～松阪市文化財センターの展示ジオラマが大集合！～	7/9（木）～ 19（日）
第 1 G	■心の花びら展 in 松阪～輝く個性を感じる展～	7/17（金）～ 19（日） * 初日は 15:00 から * 最終日は 14:00 まで
第 3 G	■3 歳の鮮烈 66 歳の喜愛	7/19（日） * 16:00 まで
第 1, 2, 3 G	■まつさかのちっちゃなアーティストたち～まつさかのほいくえん園児造形展～	7/25（土）～ 8/2（日）



バーコード読み取り
（文化財センター情報）

館内の行事案内



ギャラリーにて「歴史ジオラマ展」を開催します★

皆さんは、はにわ館の展示室に並べられたジオラマをご覧になったことがあるでしょうか。実は、あのジオラマは、すべて松阪市文化財センターの職員の手によって作られたものです。細部にまでこだわり、今にも動き出しそうなジオラマたちはどれも自慢の一品です。

そんなジオラマを集めた「歴史ジオラマ展」を 7 月 9 日（木）から 19 日（日）までの間、第 2 ギャラリーにて開催します。もう一度見たくなる城や古墳のジオラマから昭和の鉄道の雰囲気（ふんいき）をばっちり再現（さいげん）したあのジオラマまで一挙（いっきよ）にお見せします。お楽しみに。



こんなジオラマが大集合します！